



発行 阿蘇郡高森町役場 TEL (高森局09676) ②1111 [代表]

人 日

——1月31日現在——

9,515人 男 …4,637人
女 …4,878人

世帯数..... 2,586

転入 36 出生 14

轉出 46 死亡 10



南阿蘇写真展から

穴迫稻荷神社の初午

牛馬の神さんとして知られる草部の穴迫稲荷神社。初午（うま）には近隣町村の牛馬息災を願う農家の参拝客たちでにぎわいます。境内には露店が出て、参拝客にはお神酒も振るまわれる一方、舞台では萩町田代神社の里薬師を招いて豊後神楽も奉納されます。

△高森写友会▽

南阿蘇はひとつ

△阿蘇南部広報紙統一キャンペーン▽

第247号
昭和55年

3月

おもな内容

- ☐ 54年度事業ただ今最後の仕上げ…………… (2)
- ☐ 選ぼう 『農業者の代表』…………… (3)
- ☐ 春の火災予防運動始まる
4月から阿蘇広域消防組合が発足…………… (4)
- ☐ 廃止は『絶対反対』(高森駅の貨物取扱い)… (5)
- ☐ 草部農免道路が完成…………… (6)
- ☐ 地域経済懇談会ひらく(商工会)…………… (7)

3月30日	3月23日	3月20日	3月16日	3月9日
南阿	南阿	高森	高森	高森
⑦	⑧	②	②	②
1	0	0	0	0
7	1	3	3	6
7	1	7	0	4
7	1	8	9	6
渡辺	立野	寺崎	東	馬原
医	病	医	医	医
院	院	院	院	院

日曜
在宅医

診療は午前9
時から午後5
時まで

町民
文芸

肥後狂句

思いもよらん、別イ居らした生みの親
 アデランス、アラ免許証は禿とらす
 玄関で、タワシ売りより強^エ媽
 アデランス、梅の枝からおつ取られ
 八合目、これから先ア医者肥し
 玄関で、ネコボク敷イて乾さすお茶
 アデランス、かぶせた儘で火葬さす
 思いもよらん、遺骨で戻る初詣で

俳句

新たなる八十やそにすべての夢託し
 落ちるかに落ちもせずし雪肚
 老の身も山の霞に若返り
 日溜りに草の芽覗く春一步
 接骨木の芽も厳寒に震へけり
 身震いし窓開け放つ余寒かな
 面突込み炬燵の中の捜し物
 鶴の舞たゞ珍らしく冬の旅
 根雪ともなれば白きも黒くなり
 待望の雨降り解くる根雪かな
 犬と歩す大股小股に春寒し
 霜柱踏みくゝ畑一めぐり
 残り雪句碑のまわりに少しあり
 バス停は村の雑貨屋日脚伸ぶ
 日脚伸び歩き始めし子と散歩

浦塚 南天
林田 一声
岩下 哀草
岡本 琴司
田上 默公子
二子 石探訪
馬原 馬笑
林 不忘

風邪の身の見舞い見舞はれ受診待つ
水仙に水さし添えて向きを替え
過ぎて来し幾十年や寒の月
悲しみの七日の過ぎし寒の月
郷土紙の切りぬき添えて梅だより
決めかねて又一まわり植木市
去年の座を駆け花壇に物芽ぶく
おみくじの中吉もよし梅の宮

（ご）
（寄）
（付）

ありがとうございます

◎町社会福祉協議会へ

▽高森津留の津留平八さんから

▽高森津留の津留平八さん・後藤

◎その他の寄付

- ▽ 重人さんから延命寿会へ金一封
- ▽ 矢津田の本田一新さんから特老「みやま荘」へ梅干漬一斗
- ▽ 高森下町の栗屋ケサチヨさんから下町老人クラブへ金一封
- ▽ 高森上在の三森義高さんから上在老人クラブへ金一封
- ▽ 上色見の甲斐敏二さんから老人クラブ「根子岳会」へ金一封
- ▽ 河原の森忠二さんから河原老人クラブと河原小・中に金一封
- ▽ 色見西丁の山室光三さんから中西老人クラブへ金一封
- ▽ 高森村山の村山次男さんから老クラブ「清山会」へ金一封
- ▽ 高森上在の中川陸雄さん・三森ミエさんから上在老人クラブへ金一封

おめでたおくやみ

出 生	S 55. 1.16~2.15. 受付
(住所) (保護者)	(出生児) (性別) (出生月日)
下町 馬原 大悟	信男 S 55. 1.14
横町 川田 武延	男 1.15
洗川 本田 一雄	男 1.27
冬野 後藤 隆生	男 1.28
森 旭 昭中 喜久	女 2.5
昭中 本田 隆男	女 2.5
菅 田 二子	女 1.10
真 山 石 夫	男 1.22
矢 津 部 公忠	男 1.9
真 山 治	女 1.22
朝 木 徳	女 2.2
	友美 2.2
	洋 2.

死	亡	(住所)	(遺族)	(続柄)	(死亡者)	(年齢)	(死亡年月日)	
津洗上	留川町	津佐野	平八	父	津松岡	義親	89	1. 27
津前下	留原町	本藤	豊縁	故者	岡道	昭	31	1. 27
菅	留原町	後藤	澄子	夫	本田	勝信	59	1. 27
菅	遠山	荒牧	重一	母	隈ハツ	エ	74	2. 3
菅	遠山	栗屋	教	父	荒牧	近	74	2. 7
菅	遠山	サチ	ヨ	夫	栗屋	兼喜	76	2. 9
菅	遠山	雄	サ	母	遠山	マサ	84	1. 27
菅	遠山	宗	サ	夫	遠山	力	60	2. 1

結 婚

(氏 名)	(住 所)	(婚姻届年月日)
夫 利道 一也 妻 (守田)たみ代	高森津留 下益城郡豊野村	S 55. 1. 2
夫 穴見 三生 妻 (彌永) 輝美	高森冬野 〃 昭和	1. 2
夫 廣木 富八 妻 (吉田)万代子	高森天神 熊本市黒髪	2. 1
夫 (大津) 末雄 妻 田上 裕子	白水村一関 草部灰原	1. 1
夫 岩下 今朝昭 妻 (園村) 幸子	上色見前原 餓託郡餓田町	1. 2

人生七十年……。これはまさしく、私はマラソンレース（四十二キロ）であると思う。

「生まれてから小学校入学までを第一期」「小学校から中学校までを第二期」と分けるなら、第二期の教育については、専門家にお願いするとして、私は第二期末期、つまり、中学三年のこのころの痛感していることから述べてみたい。

中学三年……。この時代にまず進学する者と就職するものとの二つのコースに分れる。しかし、高校に進学する者が、全国的に九割を越え、就職する者が一割もない現状（定時制高入学者もあるが）を考えると、私は、この中学卒業の年を人生のスタート、マラソンレースの出発点として考えてみたい。

人生はマラソンレース

津留馬 原 範 三

このページは、みなさんから寄せられた原稿で編集するページです。身近かな話題や、できごと、提言などをお待ちします。原稿のあて先は役場総務課広報係。住所氏名、年齢、職業をお書きください。紙上だけ匿名扱いできます。また「わが家の王様」に登場させたい方など紹介ください。



昨年十二月二日の福岡国際マラソンでは、二十位までに日本人が七人も食い込んだ。第一位瀬古、第二位宗（兄）、第三位宗（弟）、以下略する。特に瀬古のラストはすばらしかった。マラソンの花を見せつけられた。家康の家訓として、たれでもよく知っている「人の一生は、重き荷を負いて遠き道を行くが如し、急ぐべからず……」

チクリ

自然を大切に

近年、人の集まるところは、心ない行楽客やドライバーによるゴミ、アキカン等の投げ捨てで、美

役場職員のやさしい言葉

前原 後藤ハルミ

一月ほど前、私は部落の断水騒ぎで、老婆心ながら役場に問い合わせの電話を入れましたところ、職員の親切、丁寧な応待をうけ、まことにうれしい思いがしました。

しい環境が汚染されています。これまで、県では郷土の清掃浄化対策として「ゴミの持ち帰り運動」をよびかけてきました。自分で持って来たものは、自分で持ち帰れば、何も起きないのだから、実行となると難しいようです。「人間の情操は、自然の中から

私はみんなの宝もの



上色見前原 後藤まよちゃん

わが家の王様

わたし、まんまる顔のまよちゃんです。男の子と間違わないで、れっきとしたレディな子です。

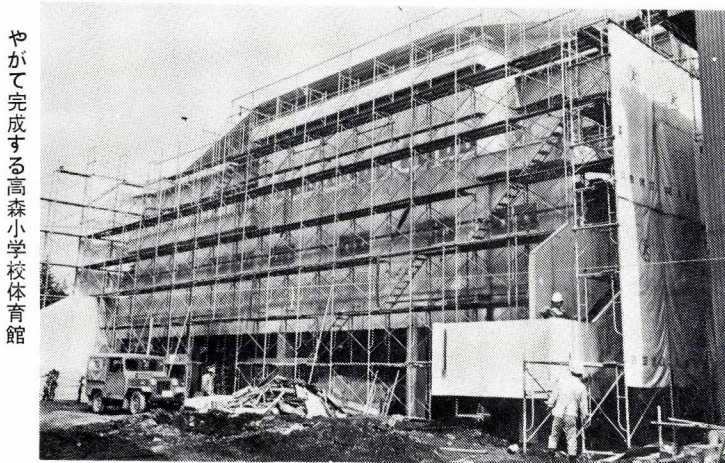
断水は二日間にわたり、食事のあとかたずけも出来ないため、多少荒立っていたのに、相手の立場を考えた心のこもった職員の言葉を聞いて、役場の接遇も変わ

育てられる」といわれます。特に子供にとっては、自然環境の及ぼす影響は大きいと思います。多くの子供が子供のころ、野山を走り、水に遊んだ思い出をお持ちではないでしょうか。高度経済成長時代、使い捨て時代といわれ、生活様式も環境もずいぶん変わってきましたが、人の自然を求める心は

△県自然保護課▽

54年度町事業

ただ今、最後の仕上げ



やがて完成する高森小学校体育館

町営住宅すでに完成

色見 4月の開園めざす

保育園

五十四年度もこの三月を残すだけとなりました。年度当初に計画された町の各種事業も、ほぼ予定通りの仕上がり、なかには異常な降雪で工期の延びたものもありますが、現場では早期完成をめざした懸命の努力が続けられています。以下、五十四年度の町事業の中から主なものを、写真をまじえて紹介してみることになりました。

町営住宅

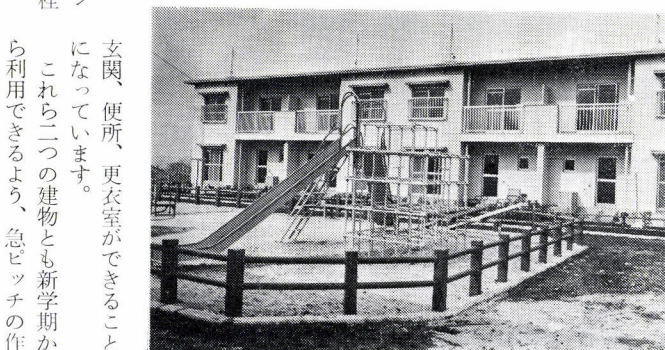
五十二年度から南阿蘇畜協の東側に須坂団地を建設しています。すでに二十戸が完成、引き続き、本年度も第一種住宅四戸、第二種住宅四戸を建設中です。一、二種とも木造モルタル二階建てで、第一種住宅の間取りは、二階が六畳二間、一階が四・五畳の和室一間とダイニングキッチン、そ

高森小改築も大詰め

学校改築

五十三年度から二十二年継続で高森小学校の改築を行っています。本年度は北側校舎跡に特別教室と管理棟、さらに東側に敷地を拡張して体育館を建設しています。総事業費は約二億九千万円。特別教室と管理棟は鉄筋コンクリート建てで、広さは延べ千三百五十二平方メートル。一階は職員室、校

れに玄関、便所、浴室、洗面所からなっています。一方の第二種住宅は、二階が六畳と四・五畳の和室二間、一階は一種住宅と同じ室数ながら、間取りが多少異なり、ダイニングキッチンがやや狭い感じ。しかし、一、二種住宅とも昨年度建設のものより、およそ三平方メートル設計です。従来と異った点は、二階建てにしたため、①二階南側にベランダを取り入れたこと②便所を洋式にしたこと③などです。



完成した町営住宅

玄関、便所、更衣室ができることになっています。

これら二つの建物とも新学期から利用できるよう、急ピッチの作業が展開されていますが、例年になく降雪のため二月末の出来高は七〇割程度。したがって、完成は予定よりやや遅れそうです。

道路整備

宇土市がすっぽりはまるほど広い面積の高森町。しかも九〇割が山間地とあって、道路の総延長は三八四・六キロにおよびます。三二・八キロの国道、五九・二キロの県道そして町道一九二キロといった具合。このため、道路をよくすることは私たちの暮らしと、労働条件をよくすることに密接につなが

お知らせ

税の申告は 3月15日までに

所得税、町県民税の申告は十五日までです。町では今年も「納税相談」を各地区に開設して、申告書の書き方、所得の計算、諸控除の計算の説明にあたっています。もし、予定された日程に申告できなかった人は、次のとおり各地区で再び「納税相談を開きますのでご利用ください。

○三月十二日 基幹集落センター
○三月十三日 林業センター
○三月十四日 畜産センター
(時間は九時から十五時)

固定資産課税台帳の無料縦覧を

五十五年固定資産税の納付書発行を、間近に控えた税務課では、不動産の所有者(管理者)に対し、自分の資産の記載事項に間違いがないかを確かめてもらうため、三月一日から二十日まで、役場(出張所)で課税台帳の無料縦覧を行っております。

固定資産台帳の整理にあたっては、住宅の場合が新・増築の際の

現地調査、そのほかは法務局(登記所)からの登記済通知書によって行っております。納付書を発行したあとで、いろいろと苦情を持ち込む例を見受けませんが、ぜひ、この無料縦覧期間中に、台帳記載の確認をすませましょう。

文部省認定 社会通信教育 制度のご利用を

この制度は、みなさんの職業や家事に必要な知識、技術習得、または一般教養の向上を図ることを目的に実施されるものです。受講資格は年齢、学歴に関係なくだれでも受講できます。受講時期は学校の入学期のようなものではなく、いつからでも受講できます。学習の内容としては、校正、速記、レタリング、無線、自動車建築、保育、洋裁、文化服装、和裁、ペン習字、書道、英語など事務係、技術系、生活技術、教養あわせて百七十六コースあります。受講希望者は直接実施団体へ申し込んでください。くわしくは県教育委員会教育課(県庁内線二六

八九)へおたずねください。

年賀ハガキの賞 品引換え始まる

お年玉つき年賀ハガキの賞品引換えが始まりました。引換え期間は七月三十一日までです。お手元の抽せん番号をお確かめになり、当選ハガキがありましたら、お早目に郵便局で賞品をお受け取りください。また書き損じたり、誤って印刷

した郵便ハガキや、郵便書簡などは、所定の手数料(ハガキは一枚につき三元)で新しいものと交換できます。ただし料額印面を汚したり傷つけたものは交換できません。お正月に受け取った年賀状で住所録の整理をしましょう。

県営有料駐車場 場がオープン

県では、熊本市中心部の交通事情を緩和するため県営有料駐車場の建設を進めていましたが、三月一日からオープンします。この駐車場は、熊本市安政町の県福祉会館裏の国道三号線沿いに建設したもので、鉄骨造り六階七層、三百三十三台収納できる自走式。

営業は年中無休、二十四時間営業(車輛の出入り取扱いは午前八時から午後十二時まで)。駐車料金は、一時間まで三百円、三十分増すごとに五十円の前〇時から八時までの深夜は三百五十円となっています。

町文化協会絵 画部が作品展

高森町文化協会絵画部(土曜会)は、同部員の作品展を次のとおり開催します。作品は、六号から三十号の油絵約二十点。多数のご来場をお待ちします。
▽会期 3月3日(月)～31日
▽会場 肥後銀行高森支店

ホームヘルパー を派遣します

町では老衰や心身の障害によって、日常生活に支障をきたしている人に、ホームヘルパーを派遣して身のまわりのお世話や、生活の上相談などの助言を行っています。対象者は次の要件を満たしている人です。

- ①生活保護法による被保護世帯、または低所得世帯。
- ②老衰または心身の障害等により日常生活に支障をきたしている人。
- ③おおむね六十五歳以上の人。
- ④介護する人がいないか、またはその家族が病弱等のため、介護を十分にできない世帯。

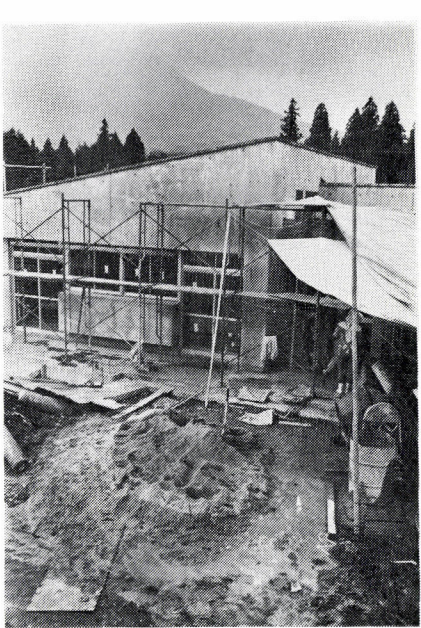
▽費用 無料
▽お申し込みと詳細は町民課へ

るのです。

まず舗装関係のみですと、「蔵地―片山線」の片山の県道三差路から五百六十メートルアスファルト舗装されたほか、「多々野―牧戸線」の馬渡谷以南二百八十メートル、「高尾野―村山線」では、草部北部の県道入口から二百五十四メートル、「天神―前原線」(高森中学校裏から高校寮を経て色見へ抜ける道路)の一部二百四十メートルなど十四路線が、すでに舗装済みです。

は、今年度も継続事業として取り組み、柿迫―水迫間千九百メートルに舗装が終わり、快適な生活道路がまた伸びることになります。次に、改良中の町道は四路線で、このうち尾下の「牧戸線」(五十四年度は九十八メートル)は、すべて完工。菅山の「取首―水堤線」も、未改修で残っていた栃原地内百メートルが改良されました。

村役場跡の近くに建設している色見保育所は、八分通り工事が進み、完成を目前にしています。敷地二千三百二十三平方メートル。園舎は鉄筋コンクリート平屋建て二百平方メートル。三歳未満児室一、三歳児以上の保育室二、ほか事務室、休憩室、医務室、調理室、倉庫などもできています。事業費約四千万円。三月いっぱいでは備品もそろい、四月からは、地元のかわい新園児たち三十人の保育ができています。



4月開園をめざす色見保育所

選ぼう、農業者の代表

町農業委員の選挙 3月26日が投票日

ことしの三月三十一日で三年間の任期が満了となる町農業委員会委員の選挙が行われます。日程は三月十九日に選挙日の告示、そして、立候補届け出の受け付けが始まり、翌二十日の午後五時までに立候補届け出のしめきり。三月二十六日が選挙の投票日となります。

選出委員は13人

町の農業委員は二十一人。この内訳は、一般選挙による委員十三人をはじめ、議会が推薦する学識経験者四人(五人以内)、それに農業協同組合と農業共済組合が推薦する理事それぞれ一人となっています。したがって、選挙によ

る十三人が、このたびの一般選挙で選ばれるわけです。

農業委員会は、農業者の利益代表者として、これらの人びとの希望や意見を行政に反映する仕事をしていきます。

すなわち、▼農地の利用関係の調整および農地関係資金の貸付け審査▼農地の転用・移動申請の審

査▼国有農地の管理▼労働力の調整など。とくに日常の相談活動を通じて、経営の合理化を推しすす

めたり、農業振興計画の樹立、さらには農業政策について町長からの諮問に答申するなど、まさに農業者の声を政治に反映するのが任務です。日本の農業が、外国からの農産物輸入、減反政策、後継者問題、年金制度など多くの問題を

かかえているときだけに、農業委員会委員に期待する点も大きいものがあります。ところで、農業委員会委員選挙に投票することのできる有権者は、満二十歳以上で十人以上の農地を耕作している経営主と、年間を通じて六十日以上耕作に従事している人です。農業者からの申請を農業委員会が審査して、昨年三月三十一日で確定しています。それによりますと、有権者数は三千三百三十人。地区別では▽草部南部八五七▽草部北部三二四▽高森七〇九▽色見四二二▽上色見三一五▽野尻・津留三九一▽尾下一八七▽河原二三五一となっています。

これから三年間の任期を、公正な見識と強い行動力を持って取り組む人を選び出したいものです。

選挙区・投票区・定数等の一覧表

投票区	投票の場所		区	域	定数
第一選挙区	1	基 幹 集 落 セ ン タ ー	草部、菅山、 下切	片口、野原	4人
	2	草部北部小学校	中、矢津田		
第二投票区	3	高 森 町 役 場	高森		5人
	4	農 協 色 見 支 所	色見		
	5	上 色 見 小 学 校	上色見		
第三投票区	6	林 業 セ ン タ ー	野尻、津留		4人
	7	尾 下 小 学 校	尾下		
	8	河 原 公 民 館	河原		
立候補届出の場所					
▷ 第1選挙区 役場草部出張所					
▷ 第2選挙区 高森町役場					
▷ 第3選挙区 役場野尻出張所					

海外旅行は日本の経済成長にともない、一九六〇年代後半から日本の多くの若者の間で夢となった。そして、私もその例外にもれず、中学生のころから世界旅行を夢見ていた一人であった。世界中の国々を回り、自分の目で多くの国を見て、また、いろんな人たちに会い、話をしてみたいと思っていたのである。

学生時代、英語が苦手だった私は、世界旅行をするために、まず英会話をマスターする必要がある。それが、私がイギリスへ行って英語の勉強をすることになった元々のきっかけである。

高校を卒業すると、私は渡航費を稼ぐため、一年計画で新聞屋とパン屋でバイトを始めた。

朝が早い新聞屋とパン屋の掛け

イギリスへの旅立ち

することにした。

一九七四年五月十五日、午前

十時半、私は大勢の見送りの人

々や貨物運搬人でさわめく中、

純白のユニホームで着飾ったブ



高森上町 山村 真市

わたしの ロンドン遊学

<1>

アルバイトで 渡航費かせぐ

ラスバンドの高らかな演奏と、無数に走る色とりどりの紙テープを目の前に、感激と希望と不安が入り交じる複雑な心境で、横浜港を出港していった。

オランダ行きシベリア鉄道コ

ースのツアーに参加していた私

は、一人旅ではあったが、その

おかげで結構楽しい旅をすること

ができた。人影一つない寂しい

ロシアの田舎町、地味なみなり

のロシア人たち、チェーン

ガムをねだる大勢の貧しそうな

子供たち、古くなり変形したタ

イヤをはめ、窓ガラスは破れ、

ガタガタになった車体のままで

今なお走っている車等々――。

そのとき見たロシアの様子は、

今でも強くその姿を私の脳裏に

くっきりと焼き付いて離れない。

横浜港を出港して七日目の

朝、私の参加したツアーはその

最終地点であるオランダのスキ

ポール空港に到着し解散した。

ツアーの解散と同時にそのスキポール空

港で入国を拒否されるという思いがけない

ハプニングもあったが、私が目的

的地ロンドンに到着したのは、

横浜港を出港して八日目のこと

であった。(つづく)

町振興に活発な意見

高森町商工会

地域経済懇談会ひらく



活発な意見が出た地域経済懇談会

高森町商工会は二月十五日午後一時から畜産センターで、地域経済(産業)懇談会を開きました。これは町の当面する諸問題に対する対応策と、今後の地域振興策を見い出すことをねらいに、町、町議会、経済団体、町民代表ら約二十人を集め開かれたものです。懇談会では、商工会の事業概要、農協、畜協、町の本年度事業計画の概要などが、それぞれの代表から説明されたあと、岩下町議会経済委員長を座長に、出席者から活発な提案や要望が出されました。

「国道二六五号線の改修で、バイパスは高森城跡の近くを通るので、この周辺を開発したら」

「草部の農協裏の粘土を利用して、焼き物の開発はできないか」

「消費者向けの郷土野菜市を定期的に開いてほしい」

「南阿蘇国民休暇村に野外スケート場の設置を望む」

「郷土名産の赤牛を生かし、赤牛の味噌づけ(かすづけ)」「赤牛のステーキ」などを売り出してはどうか」など。

続いて町外転入者からは「街中のイメージが暗く、あけぬけしない」「郷土みやげが少ない」「町内に特産のワラビ、トウキビなどが売り出されていない」「地価の高騰がはなはだしい」「企業誘致に対する住民意識の受け皿づくりが欠けている」という意見が出されました。

春の火災予防運動始まる

タバコが連続トップ

「たき火の不始末」も急増

冬將軍去り躍動告げる春一番。二、三日は空気がカラカラに乾燥して風も強く、いわば火災シーズンの本番ともいえる「危険な季節」です。二月二十九日から、三月十三日までは「春の全国火災予防運動」が行われていますが、お宅の火の元は大丈夫でしょうか。全国の月別火災発生件数を見ますと、最も多いのが三月で、次いで二月、四月と続いており、

す。愛煙家のみなさんにとって、他人事ではありません。たばこに次いで二番目に多いのは、「たき火」の九千八百七十七件(一四割)、三番目が「子供の火遊び」六千三百三十五件(九割)となっています。

この出火原因の順位は、例年と変わりませんが、五十四年の特徴としてあげられるのは「たき火」の不始末による火災が急増したことで、前年の年に比べて三千二十七件も増えています。

また、新聞などで騒がれている「放火」は「疑い」も含めて五千三百六十件もありました。全火災の七・六割を「放火魔」が占める

本町のたばこ振興協議会生産者大会は二月二十六日畜産センターに関係者約六十人が出席して開かれました。今年度は長雨による日照不足と、長期にわたるヨナの降灰で葉たばこの、質、量とも悪く、町はこ生産高は、昨年(六億二千六十万九百七十五円)を九千八百四十九万三千八百五十円下回る、五億二千二百一十一万五千九百九十円に、とどまりました。

予防査察や救急活動

近く祭場に分駐所を建設

組合が発足

郡内11カ町村

常備消防をめざし、西原村を除く阿蘇郡十一カ町村で準備を進めていた阿蘇広域消防組合が、四月一日に発足することになりました。

現在、阿蘇中部地区には、阿蘇町、一の宮町、波野村、産山村の四カ町村による阿蘇中部消

防組合が設立され、消火活動や救急活動がすでに行われていますが、それ以外の町村では常備の消防組織はなく、火災の場合だけを地元消防団に頼っているのが現状。特に、最近各地域とも交通事故、農作業事故、その他による急急輸送が問題化し

葉たばこ生産者大会ひらく

品評会入賞者を表彰

このあと、北迫同事務所技術課長の良質葉づくりの技術的アドバイスがあり、続いて①連帯感をもつて、葉たばこ品質改善を推進しよう②完熟堆肥を増産し、良質葉の生産に努めよう③吸って旨い葉たばこ作りにがんばろうの三つの大会スローガンを満場一致で採択しました。



たばこ振興協議会生産者大会

栄養教室の閉講式



合理的な食生活で健康づくりを
高森町健康を守る婦人の会主
催の栄養教室は、昨年六月から町
民センターで開かれていましたが、
二月十五日閉講式が行われ、六回
以上の講義と実習を受けた三十二
人に修了証が手渡されました。

同教室は、貧血や成人病予防に
役立ててもらおうと、三十七年か
ら始まりました。今回は阿蘇保健
所の栄養士や町保健婦らが講師と

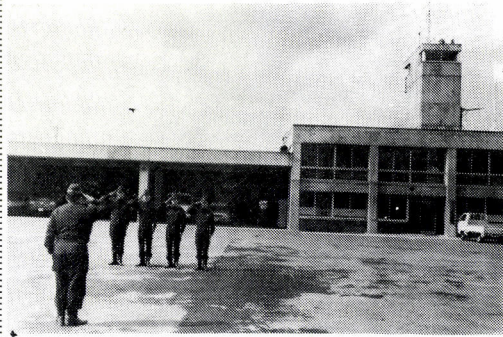
なり、毎日一回の講義と実習を続
けました。おもな講義内容は「パ
ランスのとれた食事づくり」「食
品衛生」「肥満予防」など基本的
テーマから「日常の健康管理面ま
で多種多様。

閉講式は、午後二時半から開か
れ、山村会長あいさつのと、草
野阿蘇保健所次長から受講生代表
の佐藤若枝さんに修了証が手渡さ
れました。

町健康を守
る婦人の会

三十二人に修了証 栄養教室が閉講

ことし4月から 阿蘇広域消防



本署となる現在の阿蘇中部消防署

ているため、昨年春から阿蘇広
域市町村圏協議会に事務局を設

置、広域消防組合設立の検討が
加えられていました。

四月から、新たに発足する阿
蘇広域消防組合は、従来の阿蘇
中部消防署を本署に、小国町と
白水村に南北分署を置き、さら
に蘇陽町、高森町（祭場）、波
野・産山地区の三カ所に分駐所
を設置、消火活動、救急業務だ
けでなく、予防査察、火災原因
調査の業務も行います。

しかし、救急活動を除き本格
的な活動体制に移るのは、新規
採用の消防士養成と、分署、分
駐所の建設に当分の期間を要す
ため、本年十月からになりそ
うです。

廃止は「絶対反対」

高森駅の貨物取扱い

運動盛り上げのご協力を

国鉄熊本管理局は、国鉄合理化
の一環として、本年九月一日から
高森駅と宮地駅の貨物取扱いを、
廃止する旨の計画を明らかにしま
したが、本町では南阿蘇、ひいて
は郡全体の産業発展に重大な支障
をきたすとして、強く反対運動を
進めていくことにしました。

高森駅では現在、町内の米、葉
タバコなどの農産物や鉱石の積み
出し、肥料、セメント、農業用機
械などの、輸送を取り扱っています。
しかし、国鉄当局が高森駅の
貨物取り扱いを廃止すると、貨物
列車の運転は熊本―肥後大津間だ
けとなり、貨物輸送を利用して
いた団体や商店、会社などは、非常
に不便になることが予想されま
す。また石油価格の高騰と、それ
に起因する諸経費の値上りによっ
て、高森から大津間までのトラッ
ク輸送ではコスト高となり、物価
への跳ね返りも必至です。

それにより現在の輸送時間より三、
四倍の輸送時間がかかり、国道三
二五号線・五七号線とも、交通事
情は一層悪化することにもつなが
ります。石油危機に対応する省エ

町議会全員協議 会でも廃止反対

このほど開かれた町議会全員協
議会で同問題について協議した結
果、町ぐるみで反対運動を進める
ことになりました。

具体的には署名運動、関係団体
や沿線住民への呼びかけ、国鉄本
社への抗議文や作文の送付、陳
情、県の町村議長会での議決要請
などが挙げられています。

4月から国民年金の 保険料が改定されます

四月から、国民年金の保険料が
一か月三千七百七十円に改定され
ます。

国民年金は、加入しておられた
方が年をとったり、障害となつた
り、あるいは母子世帯となつたと
きなど、長い人生の節々でどんな
事故にあつても年金を支給して、
生活の安定を図ることを目的にし
ています。将来、年金が目減りす
ることはありません。

この改善によって、昨年七月に
拠出年金、八月に福祉年金の額が
それぞれ引き上げられました。
このように年金額は、毎年のよ
うに引き上げられています。これ

ら年金の財源は、加入者が納付し
た保険料の積立金と、国が負担す
る国庫金とでまかなわれていま
す。そのため年金額が引き上げら
れると、保険料の額の引き上げも

行われることになり、五十五年四
月から三千七百七十円に改定され
ることになったのです。国民年金
制度をより充実したものにするた
めに、ぜひご協力ください。

なお、保険料を、納付期限まで
納めない、事故にあつた場合、
年金がもらえないことがありま
す。納め忘れのないよう注意して
ください。

保険料を毎月、あるいは三カ月

草部農免道路が完成

社会
水庫区間

地元民、喜びの落成式

延べ七年間、二億一千万円の工

費をかけた草部農免道路がこのほ

ど完成、これを祝つて二月二十日
午前十一時から基幹集落センター
で地区あげて
の落成式が催

されました。
同道路は社会と水庫を結ぶ最短
路線。地域の農業振興だけでなく、
日常の生活道路ともなり、経
済効果は大きいものがあります。
完成したのは、東社会（登母祖入

口）を起点に、
小畑一馬場、中
村を経て、菅山
の戸ノ口・水庫
に至る総延長五
千七百七十六



の落成式
の戸ノ口・水庫
に至る総延長五
千七百七十六
五十四年度で舗
装した戸ノ口の
急傾坂地点三百
九十五ヶを除
き、全線砂利道。
工事は県営の

ごとに納めることが面倒な人、ま
たは農家などのように収穫期に、
まとまった収入のある人は、一年
または定められた期間の保険料を
前納していた。たゞ制度もありま
す。その都度納める手数も省けま
すし、割り引きもあります。

保険料を納めたくとも家計が苦
しくて納められないとか、失業や
災害などで納めることができない
人は、その保険料が免除されます。

補助事業で九〇割
が国・県の補助、
残り一〇割が町負
担。四十八年から
着工、五十年まで
の三千五百坪は、

既設の道路を拡張するなど比較的
順調でしたが、五十一年から五十
三年にかけての後期は、急勾配の
山そわにさしかかり、岩盤、粘土
質の土壌に悩まされるなど難工事
をきわめました。

落成式には、九州農政局、県阿
蘇事務所、町役場、町議、それに
地元住民など約百人が出席。岩下
町長、岡本県阿蘇事務所長、山村
町副議長らの来賓祝辞がありまし
た。これに対して、地元代表の甲
斐一誠町議が「全住民が首を長く
してこの道路の完成を待っていた。
経済効果が大きいだけに、
今後は舗装化に向けて再び関係者
のご協力をいただきたい」と、お
礼とお願いのことを述べました

応募した論文 みごとに入選

町議の津留さん



高森下町の津
留、今朝寿さん
（三〇）町議
は、このほど雑
誌「正論」が論
文募集した「難
民問題と日本の役割」に応募し
て、みごと入選を獲得されました。

このコンクールは、サンケイ新
聞社の出版する月刊誌「正論」が
十二月度で募集したもので、入選
二編、佳作三編の計五編を、市村
真一京大教授、衛藤藩吉東大教授
ら五人の審査委員が選定権威ある
ものです。今回は、全国から百四
十一編の応募が寄せられ、厳正な
最終審査の結果、津留さんの作品
ほか一編（兵庫県・会社員）がト
ップを飾りました。

津留さんの作品は昨年暮れ、青
年海外協力隊大分OBとともに大
分県野津町からベトナム難民を本
町などに招いたこと、熊本市の中
心街で、インドシナ難民救済募金
を行った二つの体験の中で、感
じ、かつ考えたことの報告です。
すでに、二月一日付のサンケイ
新聞で、全文が紹介されましたが、
月刊「正論」四月号（三月一日発
売）でも掲載されることになって
います。